

公立大学法人大阪府立大学 平成 19 事業年度の業務実績に関する評価結果（素案）作成に係る主な意見と記載内容

区分	大学部会における意見	記 載 内 容
2 全体評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中期目標期間6年間の折返し点を迎えたが、全体として計画どおり進捗している。理事長のイニシアティブのもと独法化による特長を活かし、自律的・自主的な大学運営がなされ、経営面や運営面での成果が現れている。今後、教育研究の質の向上につながることを期待したい。 ○ 教員組織のスリム化を進める一方で、高い教育研究のレベルを保っていることを確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「評価結果と判断理由」の評価委員会意見として、また、「評価にあたっての意見、指摘等」にコメントを記載。（2、4ページ） ○ 「評価にあたっての意見、指摘等」に記載。（4ページ）
3-1 業務運営の改善及び 効率化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学長裁量経費を措置し、教育環境整備や外部研究資金獲得のインセンティブなどに活用していることは、他の大学の模範になる。 ○ 教員採用の際にも、理事長のリーダーシップにより厳しい見極めを行うなど、他大学では例をみない取組みを進めていることを確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「評価にあたっての意見、指摘等」に記載。（6ページ） ○ 同上
3-2 財務内容の改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ A 評価であり、「財務内容の改善」全体として計画どおり進捗しているというコメントをすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「評価結果と判断理由」に「財務内容改善は全体として計画どおりに進められていると認められる。」という記載を追加。（7ページ）
3-4 その他の業務運営	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大型研究機器を他大学の研究者等と共同利用することは、公立大学の社会的使命の1つと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「評価にあたっての意見、指摘等」に記載。（10ページ）
3-5 大学の教育研究等の 質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合リハビリテーション学研究科は、ニーズに積極的に対応した取組みである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「進捗状況の確認にあたっての意見、指摘等」に記載。（12ページ）